

誤解されやすい「お寺のしくみ」

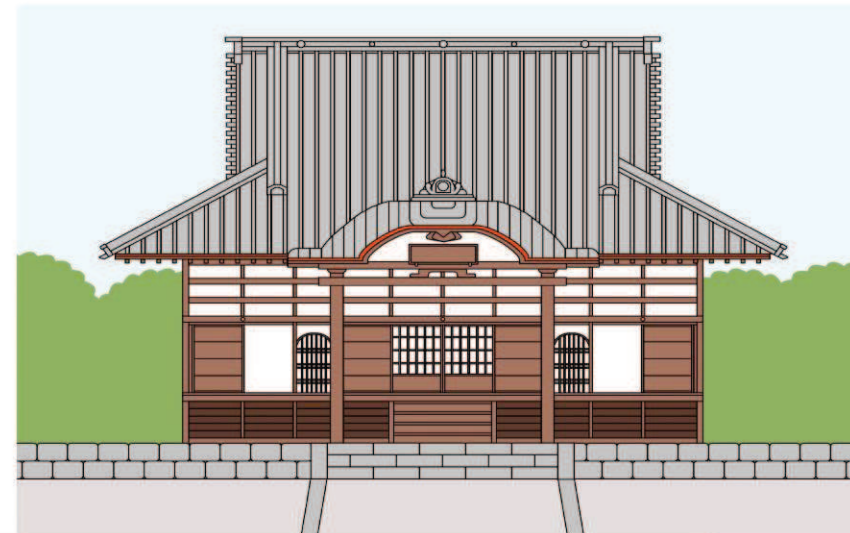
法事・葬儀等の布施や賽銭



年中行事の志納金
お盆・年末・彼岸等の御佛前



寺院の運営費として
使われています。



護持会費

本山課金
浄化槽管理（検査・点検等）
保険（火災・地震）
境内清掃費（一部補助）
消防設備（消火器等）

電気代や水道代は護持会費
からは、支出されていません

僧侶個人への布施では
ありません。

頂いたお布施は僧侶が預
かっていきますが、寺の
運営費となります。



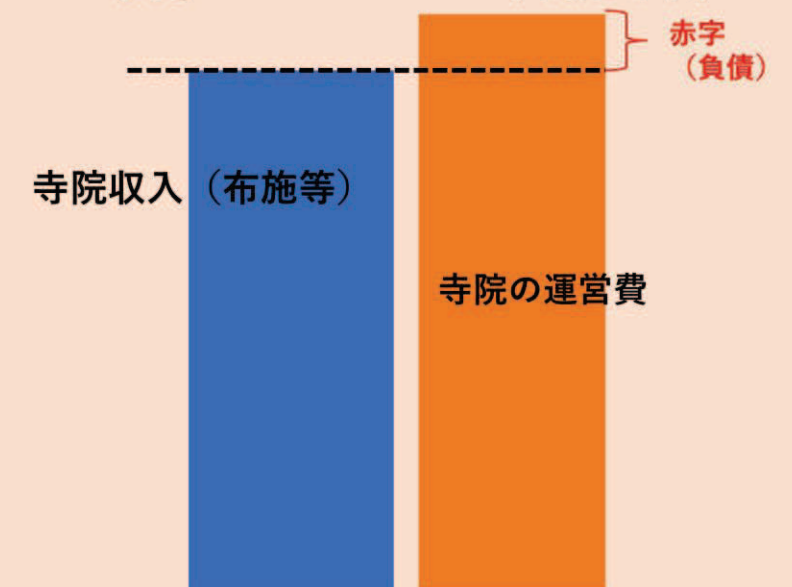
僧侶が直接もらっている
とよく勘違い受けますが
そうではありません。

寺院の運営費

- ・一定額の住職・寺族給与（所得税がかかります）
 - ・電気代
 - ・水道代
 - ・ガス代
 - ・灯油代（本堂、庫裡暖房器具用）
 - ・事務費（印刷製本費、事務用品代）
 - ・通信費（電話代、檀信徒宛郵便代）
 - ・法衣・仏具等購入費
 - ・檀信徒接待代
 - ・境内清掃費（清掃用具・除草代等）
 - ・樹木管理費（樹木の剪定・維持管理等）
 - ・参詣者記念品代（年中行事や彼岸等）
 - 等々
- （個人使用分は案分して住職給与より支払っています）

寺の運営には費用が必要となりますが、
原資となるのは、頂いた布施等の収入によって
賄われています。

寺院の収入（布施等）が寺院の運営費用
より少なくなると、寺院を維持していく
ことは出来なくなります（寺院崩壊）



人口減少や墓じまいなどで、檀家数が
減少し、全国的に寺院崩壊するのでは
ないかと危惧されています。



毎年6月頃になると本堂前の紫陽花がきれいに咲き、私たちを魅了してくれます。紫陽花の花言葉には「無常」「家族」「和気あいあい」などがあります。6月のわずかな時間に咲き、いつの間にか散っている姿を鑑みると確かに「無常」という言葉も当てはまりますが、きれいな花びらを眺めていると梅雨の蒸し暑さも和らいでくれるような感じにもなりますね。

年中行事

年中行事には家族そろってご参詣
ください！

1月 初念仏講
4月 御忌法要
5月 施餓鬼法要

8月 お盆合同回向会
11月又は12月 十夜法要
ご参詣いただきご支援をお願いします。

